

科 目		C言語基礎 I (前期)			
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	前期
学科	情報システム科				
種別	演習	単位時間	102	単位時間	
<b>1. 概要</b>					
目的	C言語の基本的な知識（変数、予約語、型、演算子、条件分岐、繰り返し構造、配列）について学習する。行数50行程度までの簡単なプログラミングができ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験3級の取得を目標とする。当科目は後期のプログラミング応用の前提知識となる。				
<b>2. 講義計画</b>					
第 1 週	開発環境設定／最も単純なプログラム作成				
第 2 週	C言語の基本（画面出力、main関数、ブロック、コメント、インクルード）				
第 3 週	変数（識別子、型、宣言、代入、初期化）				
第 4 週	式と演算子 1（式、演算子、オペランド、インクリメント）				
第 5 週	式と演算子 2（代入、優先順位、キャスト）				
第 6 週	場合に応じた処理（条件、関係演算子、条件判断文、if文、else文）				
第 7 週	場合に応じた処理（条件、関係演算子、条件判断文、switch文）				
第 8 週	何度も繰り返す（繰り返し、for文）				
第 9 週	何度も繰り返す（繰り返し、while文、do-while文、break文、continue文）				
第 10 週	配列 1（配列の宣言、配列要素、添字、配列の初期化）				
第 11 週	配列 2（マクロ、多次元配列、文字列と配列）				
第 12 週	関数 1（関数の定義、関数の呼び出し、引数、戻り値、変数）				
第 13 週	関数 2（スコープ、記憶寿命、関数の宣言）				
第 14 週	関数 2（標準ライブラリ関数）				
第 15 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題				
第 16 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題				
第 17 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題				
第 18 週	C言語プログラミング能力認定試験 3 級練習問題				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>					
情報処理講座を並行して受講していること。					
<b>4. 成績評価の方法</b>					
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>					
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）				
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）				
<b>6. 注意事項</b>					
パソコンを使つての実習である。					

科 目		C言語基礎Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤 雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	前期のIT理論（C言語部門）の応用編である、C言語を使用した構造体、ポインタ、ファイルを使用したプログラミングを学ぶ。簡単な実用的なプログラムが作れ、サーティファイC言語プログラミング能力認定試験2級に合格することを目標とする。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	C言語1の復習					
第 2 週	ポインタ1（メモリ、アドレス）					
第 3 週	ポインタ2（ポインタ、アドレス演算子、間接参照演算子、const）					
第 4 週	配列・ポインタの応用1（配列とポインタの関係、引数と配列）					
第 5 週	配列・ポインタの応用2（文字列とポインタ、標準ライブラリ関数）					
第 6 週	配列・ポインタの応用3（文字列操作関数、メモリ操作関数）					
第 7 週	いろいろな型1（構造体、メンバ、ドット演算子、typedef）					
第 8 週	いろいろな型2（アロー演算子、共用体、列挙）					
第 9 週	ファイル入出力1（ストリーム、変換仕様、ファイル入出力）					
第10週	ファイル入出力2（バイナリアクセス、ランダムアクセス、コマンドライン引数）					
第11週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第12週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第13週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第14週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第15週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第16週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第17週	基本情報技術者試験	午後問題	C言語			
第18週	C言語プログラミング能力認定試験3級練習問題					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
情報処理講座を並行して受講していること。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使つての実習である。						

科 目		情報処理講座 I (前期)				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	102	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。後期の情報処理講座Ⅱに続く。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	コンピュータの歴史・五大装置					
第 2 週	データの表現					
第 3 週	基数と基数変換 1					
第 4 週	基数と基数変換 2					
第 5 週	中央処理装置の構成					
第 6 週	主記憶装置の構成					
第 7 週	命令とアドレッシング					
第 8 週	ALUの構成回路、高速化技術					
第 9 週	磁気ディスク装置					
第 10 週	光ディスク、半導体メモリ、その他の補助記憶媒体・装置					
第 11 週	入力装置・出力装置、入出力インターフェース					
第 12 週	情報処理システムの処理形態、高信頼化システムの評価					
第 13 週	ヒューマンインターフェース、マルチメディア					
第 14 週	ソフトウェアの分類、OS					
第 15 週	プログラム言語と言語プロセッサ					
第 16 週	ファイル					
第 17 週	試験練習 1					
第 18 週	試験練習 2					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	C言語、アルゴリズム、情報処理講座 I					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	平常点および定期試験（筆記試験）にて行う。					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	: ITワールド					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
	座学。					

科 目		情報処理講座Ⅱ（後期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	講義	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	基本情報処理技術者試験の認定講座。認定教材を使って学習を進める。ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベースなど、多岐の分野の学習をする。情報処理講座Ⅰの続きとなる。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ハードウェア）	・解説			
第 2 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（情報システム）	・解説			
第 3 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ソフトウェア）	・解説			
第 4 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（ネットワーク）	・解説			
第 5 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（データベース）	・解説			
第 6 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（情報セキュリティ）	・解説			
第 7 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 8 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 9 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 10 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 11 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 12 週	基本情報処理技術者試験	午前問題（総合問題）	・解説			
第 13 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（データベース）	・解説			
第 14 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（データベース）	・解説			
第 15 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
第 16 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
第 17 週	基本情報処理技術者試験	午後問題（言語）	・解説			
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
※午前試験、午後Ⅰ試験、午後Ⅱ試験があるが、進捗状況によってどの問題を行うか変えていく。						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
平常点および定期試験（筆記試験）にて行う。						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	ITワールド、ITワールド問題集					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
座学。						

科 目		コミュニケーション I (前期)				
担当教員	佐藤 隆博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や相手の考えや思いを知ること</li> <li>・自分の考えや思いを表現できること</li> <li>・自分の考えや思いを相手に伝えることができること</li> </ul>				
<b>2. 講義計画</b>						
	第 1 週	自己紹介・知っている人にあつたとき				
	第 2 週	知っている人にあつたとき				
	第 3 週	話しかけるきっかけをつかみたいとき				
	第 4 週	話しかけるきっかけをつかみたいとき				
	第 5 週	はじめての人と話すとき				
	第 6 週	はじめての人と話すとき				
	第 7 週	だれかと友達になりたいとき				
	第 8 週	だれかと友達になりたいとき				
	第 9 週	仲直りしたいとき				
	第 10 週	仲直りしたいとき				
	第 11 週	相手の気持ちを知りたいとき				
	第 12 週	相手の気持ちを知りたいとき				
	第 13 週	「ビミョ～」って答えたくなっちゃったとき				
	第 14 週	「ビミョ～」って答えたくなっちゃったとき				
	第 15 週	うれしいとき				
	第 16 週	うれしいとき				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	平常点および定期試験（実技試験）で評価する					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
	教科書	:				
	参考書	: コミュニケーションに自信がつく 44 のトレーニング				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		コミュニケーションⅡ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	1年	履修期間	前期	
学科	情報システム科		実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や相手の考えや思いを知ること</li> <li>・自分の考えや思いを表現できること</li> <li>・自分の考えや思いを相手に伝えることができること</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	なんだかモヤモヤしているとき					
第 2 週	なんだかモヤモヤしているとき					
第 3 週	からかわれてへこんだとき					
第 4 週	からかわれてへこんだとき					
第 5 週	仲がいい子にからまれたとき					
第 6 週	仲がいい子にからまれたとき					
第 7 週	みんなに合わせるのが苦しくなったとき					
第 8 週	みんなに合わせるのが苦しくなったとき					
第 9 週	シカトする側になっちゃったとき					
第 10 週	シカトする側になっちゃったとき					
第 11 週	キレそうなとき					
第 12 週	キレそうなとき					
第 13 週	どうせ自分なんて…と思ったとき					
第 14 週	どうせ自分なんて…と思ったとき					
第 15 週	見た目や雰囲気を変えたいとき					
第 16 週	見た目や雰囲気を変えたいとき					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
平常点および定期試験（実技試験）で評価する						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	: コミュニケーションに自信がつく44のトレーニング					
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		2 D C G 概 論 I ( 前 期 )				
担当教員	戸澤 逸美	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	AdobeのIllustratorとPhotoshopの基本的な使い方をマスターし、実用的なグラフィックデザインの作成スキルを身につける。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	基本的なIllustratorの触り方 自己紹介シートを作ってみよう					
第 2 週	Illustrator：図形を組み合わせる様々な形を作ろう<図形描画ツール・ペンツール・色>					
第 3 週	Illustrator：図形を組み合わせる様々な形を作ろう<シェイプ形成ツール・文字ツール・グラデーション>					
第 4 週	Illustrator：グリーティングカードを作ろう<シェイプ形成ツールのおさらい。素材作り>					
第 5 週	Illustrator：文字を加工してみよう<ロゴ作成>					
第 6 週	Illustrator：名刺を作ってみよう<効果>					
第 7 週	Illustrator：<回転・線の太さ・パターン模様制作>					
第 8 週	Illustrator：チラシを作ってみよう					
第 9 週	Illustrator：チラシを作ってみよう					
第 10 週	基本的なPhotoshopの使い方<画像加工・補正・レイヤーなど>					
第 11 週	Photoshop：画像を合成してみよう<画像の切り出し・合成>					
第 12 週	Photoshop：自分で写真を撮って加工してみよう					
第 13 週	Photoshop：フォトコラージュ					
第 14 週	Photoshop：フォトコラージュ					
第 15 週	Photoshop：フォトコラージュ					
第 16 週	Photoshop・Illustrator：広告を作ってみよう					
第 17 週	Photoshop・Illustrator：広告を作ってみよう					
第 18 週	前期の作品講評とグラフィックデザインのお仕事について					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
日常点および課題により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使っでの実習である。						

科 目		2 D C G 概 論 II ( 後 期 )				
担当教員	戸澤 逸美	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	Adobe社製illustratorの操作方法を取得する。Photoshopとの組み合わせで、画像を加工したり作成する技術を学ぶ。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	illustrator・Photoshop：前期の復習					
第 2 週	Photoshop：写真補正					
第 3 週	Photoshop：画像加工					
第 4 週	Illustrator：ペンタブレットを使って文字やイラストを書いてみよう					
第 5 週	Illustrator：ラベルデザイン<下書き・アイデア出し>					
第 6 週	Illustrator：ラベルデザイン<完成>					
第 7 週	Illustrator：マスコットキャラクターを作ってみよう<下書き・アイデア出し>					
第 8 週	Illustrator：マスコットキャラクターを作ってみよう<完成>					
第 9 週	Illustrator：印刷の準備方法・印刷の種類について					
第 10 週	illustrator・Photoshop：新作お菓子をPRしよう<アイデア出し・リサーチ>					
第 11 週	illustrator・Photoshop：新作お菓子をPRしよう<素材作り>					
第 12 週	illustrator・Photoshop：新作お菓子をPRしよう<完成・試験用素材の作成、提出時の注意>					
第 13 週	illustrator・Photoshop：新作お菓子をPRしよう<ロゴ・商品イラスト・パッケージ・ポスター>					
第 14 週	illustrator・Photoshop：新作お菓子をPRしよう<ロゴ・商品イラスト・パッケージ・ポスター>					
第 15 週	試験準備					
第 16 週	試験準備					
第 17 週	実技試験					
第 18 週	評価用課題作成（提出）					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
日常点および定期試験（実技試験）および課題により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使つての実習である。						



科目	社会生活実習(1年前期)					
担当教員	石川	学年	1年	履修期間	前期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	他の領域・教科での学びを総合的に取り入れ、社会で体験するであろう活動や、そのために必要なスキルを身に付ける。					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	・学校ルール・クラスルール					
第2週	・地域のゴミ拾い					
第3週	・花見・春の写生会					
第4週	・エンカウンター①②					
第5週	・ウォーキング・ラジオ体操①②					
第6週	・誕生日会①②					
第7週	・調理について①②					
第8週	・買い物実践①②					
第9週	・DVD鑑賞会①②					
第10週	・インターンシップ①					
第11週	・インターンシップ②					
第12週	・面談①②					
第13週	・花壇の手入れと草むしり①②					
第14週	・豊平公園散策①②					
第15週	・エンカウンター③④					
第16週	・リメイク①②					
第17週	・ラッピング①②					
第18週	・テスト対策①②					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
	・あらゆる体験から自信につながる活動におとす					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	・各单元ごとに評価の仕方と基準をもとに成績評価とする					
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						

科 目	社会生活実習 I (後期)					
担当教員	石川 美雪	学年	1年	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
<b>1. 概要</b>	目的 ・自分に自信をもち、自らの人生を主体的に生き、社会参加していく力である社会生活力を高める					
<b>2. 講義計画</b>	第 1 週 ・秋の豊平公園散策・写生会①②・秋の豊平公園散策・写生会①② 第 2 週 ・秋の面談①②・秋の面談①② 第 3 週 ・地域ゴミひろい①②・地域ゴミひろい①② 第 4 週 ・ラッピング①② 第 5 週 ・インターンシップ①② 第 6 週 ・Caféシュミレーション①② 第 7 週 ・カウンセリング①② 第 8 週 ・DVD鑑賞①②・DVD鑑賞①② 第 9 週 ・エンカウンター①② 第 10 週 ・読書①②・読書①② 第 11 週 ・感想文①②・感想文①② 第 12 週 ・MTG①② 第 13 週 ・クリスマス会①②・クリスマス会①② 第 14 週 ・MTG①② 第 15 週 ・新年会①②・新年会①② 第 16 週 ・先輩への企画①②・先輩への企画①② 第 17 週 ・テスト対策① 第 18 週 ・テスト対策②					
<b>3. 関連科目および注意点</b>	・あらゆる体験から自信につながる活動におとす					
<b>4. 成績評価の方法</b>	・各单元ごとに評価の仕方と基準をもとに成績評価とする ・定期試験実施					
<b>5. 教科書および参考書など</b>	教科書 : 参考書 :					
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		デジタルサウンド基礎実習 I (前期)				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 簡単な音楽を作り、システムの素材として活用できる技術を学ぶ。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 1					
第 2 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 2					
第 3 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 1					
第 4 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 2					
第 5 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 1					
第 6 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 2					
第 7 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 1					
第 8 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 2					
第 9 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 1					
第 10 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 2					
第 11 週	「春」 整理。フリーで 1 曲作る。 3					
第 12 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 1					
第 13 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 2					
第 14 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 3					
第 15 週	試験準備 1					
第 16 週	試験準備 2					
第 17 週	前期試験 1					
第 18 週	前期試験 2					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
デジタルサウンド基礎実習 II						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
日常点および定期試験 (実技試験) および課題点により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	: プリントにて対応					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使っでの実習である。						

科 目		デジタルサウンド基礎実習Ⅱ（後期）				
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	マイクロソフト社Word2010の基本操作を取得する。 Word検定3級（サーティファイ主催）およびワープロ検定3級（日本情報処理検定普及協会）が合格できるレベルを目指す。					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1				
第2週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2				
第3週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1				
第4週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2				
第5週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	1				
第6週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	2				
第7週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	1				
第8週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	2				
第9週	B・POP 自前で作る	1				
第10週	B・POP 自前で作る	2				
第11週	B・POP 自前で作る	3				
第12週	Bright POP自作	1				
第13週	Bright POP自作	2				
第14週	Bright POP自作	3				
第15週	試験準備	1				
第16週	試験準備	2				
第17週	後期試験	1				
第18週	後期試験	2				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使っでの実習である。						

科 目	パソコン基礎実習 I (前期)				
担当教員	佐藤 隆博	学年	1学年	履修期間	前期
学科	情報システム科				
1. 概要	種別	演習	単位時間	68	単位時間
	目的				
2. 講義計画	第 1 週 第 2 週 第 3 週 第 4 週 第 5 週 第 6 週 第 7 週 第 8 週 第 9 週 第 10 週 第 11 週 第 12 週 第 13 週 第 14 週 第 15 週 第 16 週				
3. 関連科目及び注意点	ノートパソコンが必要				
4. 成績評価の方法	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価				
5. 教科書及び参考書など	教科書            :  参考書            : 今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2019				
6. 注意事項	パソコンを使つての実習である。				

科 目	パソコン基礎実習Ⅱ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	1学年	履修期間	後期
学科	情報システム科				
種別	演習	単位時間	68	単位時間	2
<b>1. 概要</b>					
目的					
<b>2. 講義計画</b>					
第 1 週					
第 2 週					
第 3 週					
第 4 週					
第 5 週					
第 6 週					
第 7 週					
第 8 週					
第 9 週					
第 10 週					
第 11 週					
第 12 週					
第 13 週					
第 14 週					
第 15 週					
第 16 週					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>					
ノートパソコンが必要					
<b>4. 成績評価の方法</b>					
課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>					
教科書 :					
参考書 : 今すぐ使えるかんたん Word & Excel & PowerPoint 2019					
<b>6. 注意事項</b>					
パソコンを使得の實習である。					

科 目		デザイン基礎 I (前期)				
担当教員	中川 貴博	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	社会生活で必要とされるデザインの考え方を学びながら、他者への理解と自己の理解を高め、様々な問題解決を図るための素養を培う。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	デザイン概論 I					
第 2 週	デザイン概論 I					
第 3 週	発想演習 I					
第 4 週	発想演習 I					
第 5 週	発想演習 I					
第 6 週	ドローイング I					
第 7 週	ビジュアルコミュニケーション I					
第 8 週	ドローイング II					
第 9 週	ドローイング II					
第 10 週	ドローイング II					
第 11 週	ドローイング II					
第 12 週	レイアウト基礎					
第 13 週	レイアウト基礎					
第 14 週	レイアウト基礎					
第 15 週	タイポグラフィ基礎					
第 16 週	タイポグラフィ I					
第 17 週	タイポグラフィ I					
第 18 週	タイポグラフィ I					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	立体造形 I					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	日常点および定期試験（実技試験）および課題により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：特に使用しません。					
参考書	：					
<b>6. 注意事項</b>						
	スケッチブックを使用します。					

科 目		デザイン基礎Ⅱ（後期）				
担当教員	中川 貴博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	社会生活で必要とされるデザインの考え方を学びながら、他者への理解と自己の理解を高め、様々な問題解決を図るための素養を培う。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	発想演習Ⅱ					
第 2 週	発想演習Ⅱ					
第 3 週	発想演習Ⅱ					
第 4 週	ピクトグラム					
第 5 週	ピクトグラム					
第 6 週	ピクトグラム					
第 7 週	ピクトグラム					
第 8 週	イラストエレメント					
第 9 週	イラストエレメント					
第 10 週	イラストエレメント					
第 11 週	イラストエレメント					
第 12 週	イラストエレメント					
第 13 週	ビジュアルブック					
第 14 週	ビジュアルブック					
第 15 週	ビジュアルブック					
第 16 週	ビジュアルブック					
第 17 週	ビジュアルブック					
第 18 週	ビジュアルコミュニケーションⅡ					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：特になし					
参考書	：					
<b>6. 注意事項</b>						
スケッチブックを使用。						



科 目		Java基礎（後期）				
担当教員	加藤雅博	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科					
種別	演習	単位時間	102 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的	Javaの基本的な概念を学び、簡単なJavaアプレットが作成できるようにする。					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	Javaのプログラム 開発環境の設定 コードの入力 コンパイラ 実行					
第 2 週	画面への出力 コードの内容					
第 3 週	文字と数値					
第 4 週	練習					
第 5 週	変数の仕組み 識別子 型 変数の宣言 変数の利用					
第 6 週	キーボードから値を入力し、変数に代入する					
第 7 週	練習					
第 8 週	式と演算子 式の仕組みを知る 式の値を出力する いろいろな演算をする					
第 9 週	演算子の種類 インクリメント演算子・デクリメント演算子 前置き・後置き					
第 10 週	練習					
第 11 週	場合に応じた処理 関係演算子と条件 if文					
第 12 週	if~else文					
第 13 週	複数の条件を判断する Swich文の仕組みを知る					
第 14 週	論理演算子					
第 15 週	何度も繰り返す for文 While文 do while文					
第 16 週	配列					
第 17 週	後期定期試験 1					
第 18 週	後期定期試験 2					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	情報処理講座・アルゴリズムを並行して授業していること。					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	課題提出点および定期試験（筆記試験及び実技）により評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	：やさしいC（第4版、ソフトバンククリエイティブ）					
問題集	：C言語プログラミング能力認定試験3級問題集（サーティファイ）					
<b>6. 注意事項</b>						
	パソコンを使っでの実習である。					

科 目		身体操作法 I (前期)				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	前期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	①自身の心身に気づき、セルフチェックができるようになる ②ボディイメージの向上と体力・筋力のアップ ③チャレンジする気持ちや集中力を高める ④リラックスできる方法を知る				
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	オリエンテーション：自己紹介カード作成、知り合うムーブメント					
第 2 週	心身のセルフチェック：呼吸法と身体の重みを知る					
第 3 週	重心の移動と連動する身体の動き：体幹					
第 4 週	重心の移動と連動する身体の動き：四肢の働き					
第 5 週	背骨の 6 方向の動きをよくする					
第 6 週	背骨の 6 方向の動きをよくする					
第 7 週	バランスの向上：目線と姿勢					
第 8 週	バランスの向上：呼吸と身体の伸び					
第 9 週	連続した動き：12 個のポーズを覚える					
第 10 週	連続した動き：12 個のポーズを覚える					
第 11 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う					
第 12 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う（スローモーション）					
第 13 週	自分のペースを知る：12 個のポーズを連続で行う（目を閉じて）					
第 14 週	脚力の強化：立位ポーズ					
第 15 週	脚力の強化：立位ポーズ					
第 16 週	心身のセルフチェック：心拍変動と呼吸					
第 17 週	前期振り返りシート of 記入：ヨガ遊び					
第 18 週	心身を休める自律訓練法					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
コミュニケーションの授業と関連。教室は講堂を使用						
ヨガマット、ボールや体操用マットなど学校にある体育用具を使用することもある						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
ペーパー試験は実施せず。振り返りシート（レポート）で評価						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
<b>6. 注意事項</b>						

科目		身体操作法Ⅱ（後期）				
担当教員	田中 直子	学年	1	履修期間	後期	
学科	情報システム科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	①心身の緊張をゆるめる ②協調運動能力の向上 ③コミュニケーションカアップ：ペアワーク、チームワーク				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	転がる身体					
第2週	転がる身体					
第3週	股関節の動きをよくする：進化ジャンケン					
第4週	股関節の動きをよくする：進化ジャンケン					
第5週	アームバランス：腕力、体幹、重心の取り方、ペアワーク					
第6週	アームバランス：腕力、体幹、重心の取り方、ペアワーク					
第7週	逆転のポーズ：体幹、バランス					
第8週	逆転のポーズ：体幹、バランス					
第9週	リズムに合わせて動く					
第10週	リズムに合わせて動く					
第11週	体のリラックスと体幹・コミュニケーション：綱引き					
第12週	ペアワーク：コミュニケーション、協働					
第13週	身体への気づき：静止したポーズ、呼吸、集中					
第14週	身体への気づき：静止したポーズ、呼吸、集中					
第15週	連続した動き：集中力、記憶力、体幹、四肢の強化					
第16週	連続した動き：集中力、記憶力、体幹、四肢の強化					
第17週	後期振り返りシート記入、サーキット遊び：チームワーク					
第18週	心身のセルフチェック、ボディーマッピング：ペアワーク					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<p>ヨガマット、ボールや体操用マットなど学校にある体育用具を使用することもある</p>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
振り返りシート（レポート）で評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	：なし				
	参考書	：なし				
<b>6. 注意事項</b>						